

共立女子短大 ○三木幹子 綾田雅子 奈良女大生活環境 丹羽雅子

<目的> ニット地衣服は一般的に織物地に比べ伸び易く、広範囲のサイズをカバーできるといった特徴がある。しかし、実際に素材の異なる同一パターンのニット地衣服が、見た目にも美しいシルエットとしてどの程度の体型やサイズをカバーすることができるか、すなわちサイズの許容範囲に関してはほとんど解明されていない。本研究ではニット地スカートの物性とサイズの許容範囲との関係を、視覚評価に基づくシルエットの美しさからとらえ、ニット地スカート設計のための基礎的資料を得ることを目的とした。

<方法> 太さの異なる市販の羊毛糸2種類を用い、さらに編み目密度を変化させた8種類の試料を作製し、KES-FBシステムを用いて基本力学特性を測定した。次にJISL0103 婦人9号サイズに基づき上記と同じ編み目条件のニット地タイトスカートを同一のパターンを用いて8着作製した。これらのスカートを、ヒップサイズが79cm~96cmの間で体型の異なる被験者10人に着用させ、写真撮影により前後面および側面のシルエットを計測した。また、前面および側面写真を用いて官能検査を行い、スカートの見た目の美しさを順位法により評価した。

<結果> 着用実験において、サイズの小さい被験者ではスカートがヒップラインから裾に向かい直線的に広がった形態を示すのに対し、サイズの大きい被験者では大腿部位置でスカートのラインが内側へ湾曲し裾に向かって狭くなるなどの違いが見られた。また、同一パターンのスカートでも力学特性によってシルエットが美しいと判断されるサイズの範囲が異なる。このことより、本実験の範囲内において、外観良く着用できるニット地タイトスカートと着用者のサイズの範囲および布の力学特性の関連を提出した。